

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスいっぽいっぽ宮下		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験年数5年以上の児童指導員加算体制	・職員が各自の強みを生かして業務に取り組んでいる ・随時話合いを行い支援を改善	・研修費支援により職員が児童指導員資格を取得できるようにしたり専門性を高められる取り組みを行っております。
2	・2017年の開所から8年目となり子供たちも大きく成長していることから、メンバーあわせてそれぞれが主体的にできるプログラム内容を変化させて実施しています	・発達年齢に応じて難易度を考えた役割を担ってもらっています	・子供たちと職員が話しあう機会を設けプログラムの内容をよりよく変化させていきます。
3	・災害時に備えた非常食を子供たちが試食する機会を定期的な設け、より安心安全の体制を整えている	・非常食は可能な範囲で食べられるものをとりそろえています。非常食についてもアレルギー対応を準備しています。	・子供たちとも話あう機会を設け防災意識を高めながら安心安全の準備にとりくみます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価は実施できておりません	小さな法人では費用面の負担が大きすぎ、導入が厳しい	費用の負担が難しいこと、義務化されていないことから、ただちに実施することは難しいですが、このような自己評価の機会に省みることでより良い支援につなげてまいります。
2	児童館との交流は実施できておりません	強度行動障害の方にとっては交流の難易度が高いという問題があります。激しい自傷につながる可能性が高く、メリットよりデメリットが大きいという問題があります。また、個人情報の観点から希望されない保護者の方がいらっしゃいます。	幅広い重症度の利用者の方を受け入れていることが、利用していることも同士のインクルージョンの学びにつながっていると感じます。空きがある限り断らない支援を継続します。
3	事業所の行事に地域のかたを招待する等は実施できておりません	強度行動障害の方にとっては交流の難易度が高いという問題があります。激しい自傷につながる可能性が高く、メリットよりデメリットが大きいという問題があります。また、個人情報の観点から希望されない保護者の方がいらっしゃいます。	お出かけの際や公園にてすれちがったかたにはちょうどよい挨拶をするということを子供たちに学んでもらっています。地域で生活するうえのマナーを守り、ちょうどよい挨拶ができることをめざしています。